

プリントネット株式会社

決算説明資料

2025年8月期第2四半期



目次

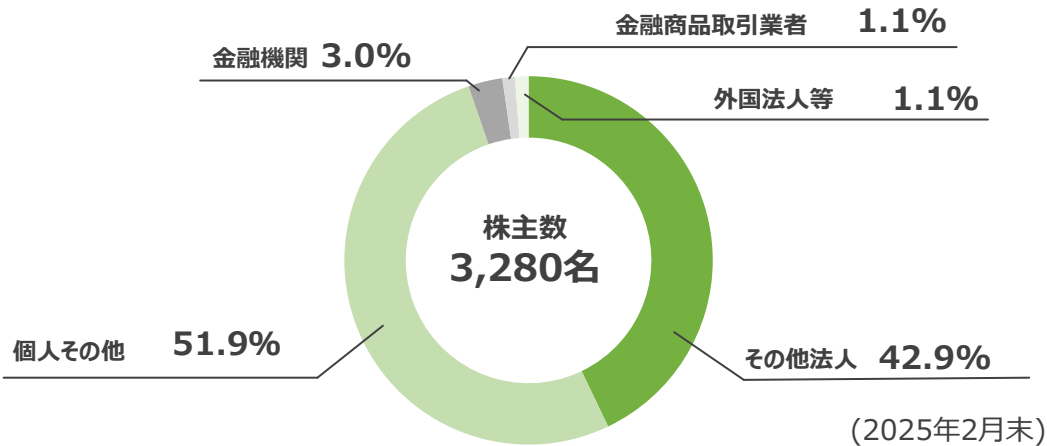
1. 当社概要と事業内容
2. 2025年8月期 進行期の現状と通期計画
3. 今後のビジョン

目次

1. 当社概要と事業内容
2. 2025年8月期 進行期の現状と通期計画
3. 今後のビジョン

商号	プリントネット株式会社（東証STD上場:7805） PRINTNET INC.
設立	1987年7月設立 2008年2月プリントネット株式会社社名変更
事業内容	インターネット印刷通信販売事業「プリントネット」「プリントプロ」「プリントネットウェア」運営
本社所在地	鹿児島県鹿児島市城南町10番7号
資本金	815百万円（株主数 3,280名）（2025年2月末日現在）
決算期	8月31日
従業員数	253名（他パート等53名）（2025年2月末現在）
役員	代表取締役会長兼社長 小田原 洋一 / 社外取締役(監査等委員) 佐藤 清一 社外取締役(監査等委員) 大久保 範俊 / 社外取締役(監査等委員) 上釜 明大 * 2023年11月より監査等委員会設置会社へ移行
拠点工場	本社・カスタマーセンター（鹿児島県鹿児島市）、東京西第一工場（山梨県上野原市） 東京西第二工場（山梨県上野原市）、九州工場（鹿児島県始良市）

所有株式数
構成



代表取締役会長兼社長
小田原 洋一

- 1985年 9月 当社 入社
- 1987年 7月 当社 取締役就任
- 2005年11月 当社 代表取締役社長 就任
- 2022年12月 当社 代表取締役会長兼社長 就任(現任)

社是

「謙虚な心で皆様と共に進む」



オンリーワン・カンパニーに向けた3つの取り組み

①低価格への挑戦

- ・ 資材選定の徹底と工場のプロセス改善で無駄を排除していきます
- ・ 2018年から価格重視のサイトを開設し、新たな顧客を取り込んで来ました

②製品品質の向上

- ・ 工場の自動化、省人化をすすめ製品品質の更なる向上を図ります

③サービス品質の向上

- ・ 利便性に特化した使いやすいサイトを目標に店舗型ホームページを目指します
- ・ 訪問活動により顧客の生の声を集め、サイトや商品開発へ迅速に繋がります
- ・ 評価を頂いているカスタマーセンターの電話対応の更なる向上を目指し顧客満足度120%を目指します

Project PN 2026

価格・サービス品質・製品品質の
3つの面から業界の
オンリーワン・カンパニーへ

2019年
生産体制拡充

2018年
ジャスダック上場

2015年
業界第3位へ躍進

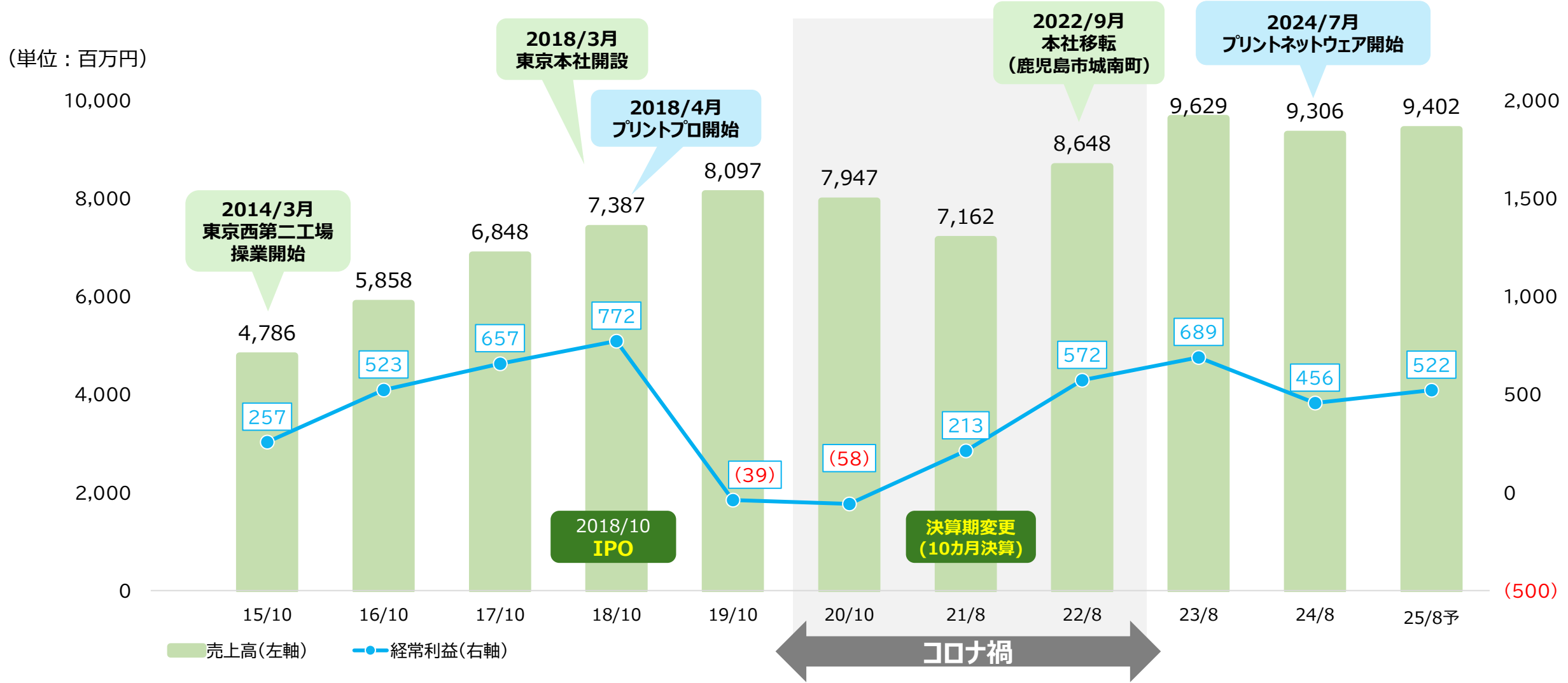
2008年
東京西工場
稼働開始

2005年
プリントネット(株)
ネット印刷へ参入

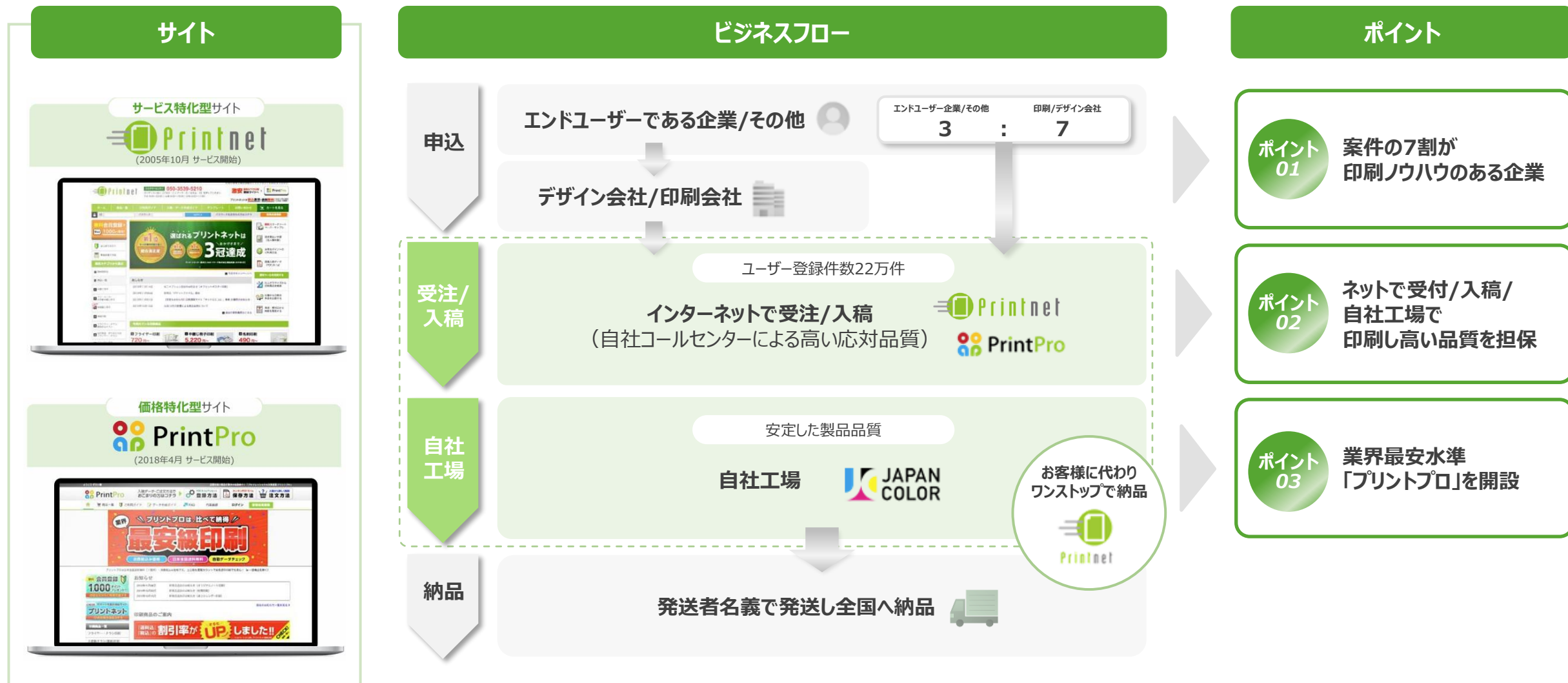
1987年
(有)小田原印刷へ
組織変更

1968年
3月
個人創業

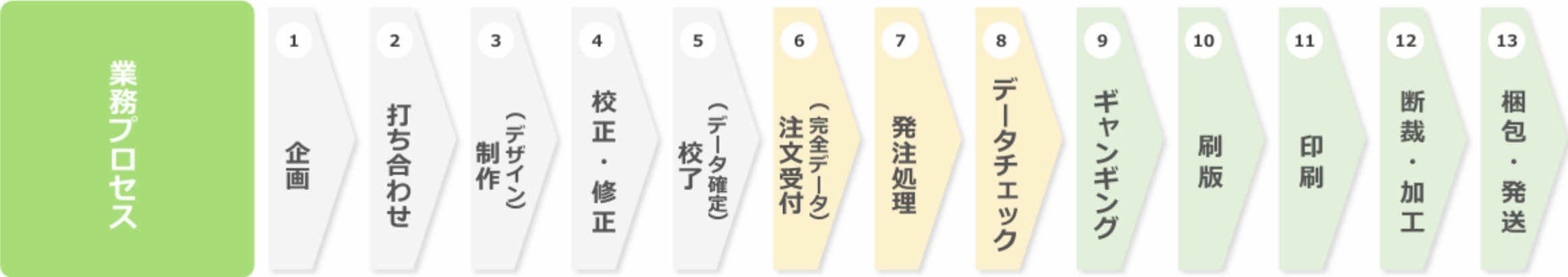
■ 2014年3月に東京西第二工場操業により業績は右肩上がりへ、その後、コロナ禍を経て業績回復基調の中で、次期成長を見据え**2026年操業開始に向けた九州工場増設を発表**



■ インターネットで受注し日本全国へ納品



- 従来型の印刷事業と異なり、印刷工程のみに特化することで、高品質の印刷物を低価格で提供している
なお、プリントプロでは⑥、⑦、⑧の工程も完全自動化することで、更に低価格での提供を実現している



■ きめ細やかな対応品質と高品質な**コールセンターのカスタマーサポート**が お客様の細かな要望や問い合わせに 対して丁寧に対応し、安心してご発注頂ける体制を構築



自社コールセンター
約30名体制



アンケートモニター提供元:GMO リサーチ株式会社(調査実施:2019年5月)

他社の場合

コールセンターへの**電話がつながりにくく、**
メールでの返信も遅い
納品日の指定や選択できる部数以外での発注が
できないなど、**細かな要望には応えてくれない**

Printnet の場合

コールセンターへの**電話がすぐにつながり、**
各工程の問い合わせに専任のスタッフが**丁寧に回答**
納品日の指定や部数の細かな指定など
他社ではできないような要望にも対応

提供サービス



サービス/応対力重視の顧客



価格重視の顧客(業界最安値級)

自社の強み

安心 = 低価格・高品質

利便性 = ネット発注

丁寧 = カスタマーサポート

信頼 = 品質と納期

受注～梱包までのフロー



JAPAN COLOR 認証



* 自社の全工場のオフセット枚葉印刷機で
ジャパンカラー認証を取得



目次

1. 当社概要と事業内容
2. 2025年8月期 進行期の現状と通期計画
3. 今後のビジョン

- ・ 今期計画は、トップラインの伸びを追うよりも採算性の良い売上受注を優先
- ・ 粗利率改善による二桁増益の達成を目指す

(単位：百万円)	2024年 8 月期 実績	2025年 8 月期 通期予想	増減率 (対前事業年度)
売上高	9,306	9,402	+1.0%
営業利益	448	516	+15.2%
経常利益	456	522	+14.6%
当期純利益	210	318	+51.5%
1株当たり 当期純利益	43円58銭	65円98銭	-

・売上高は前期を下回るも原価改善、販管費削減が奏功し営業利益は前期比36.2%の増益

(単位：百万円)	2025年 8 月期第 2 四半期			備考
	実績	前年実績	増減率（%）	
売上高	4,497	4,757	▲5.5	大口得意先以外印刷売上高 3,100百万円 大口得意先印刷売上高 1,339百万円
売上原価	3,493	3,780	▲7.6	
売上総利益	1,004	977	+2.7	原価低減により粗利率1.8ポイント改善
販売費及び一般管理費	751	791	▲5.1	発送運賃コスト削減効果が貢献
営業利益	252	185	+36.2	
経常利益	253	190	+33.4	
中間純利益	232	* 58	+300.4	特別利益：保険解約返戻金105百万円

* 前期減損▲84百万円

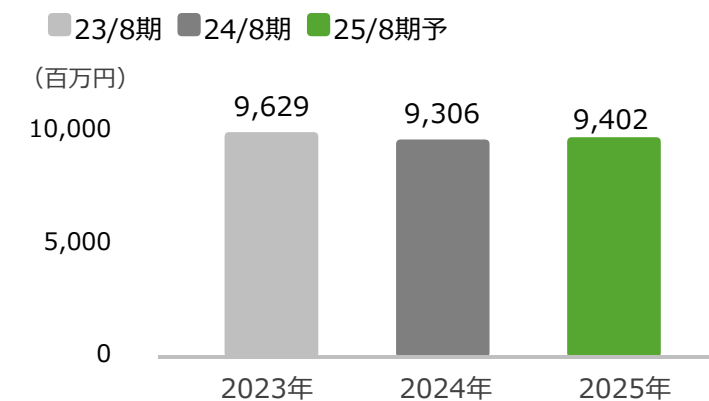
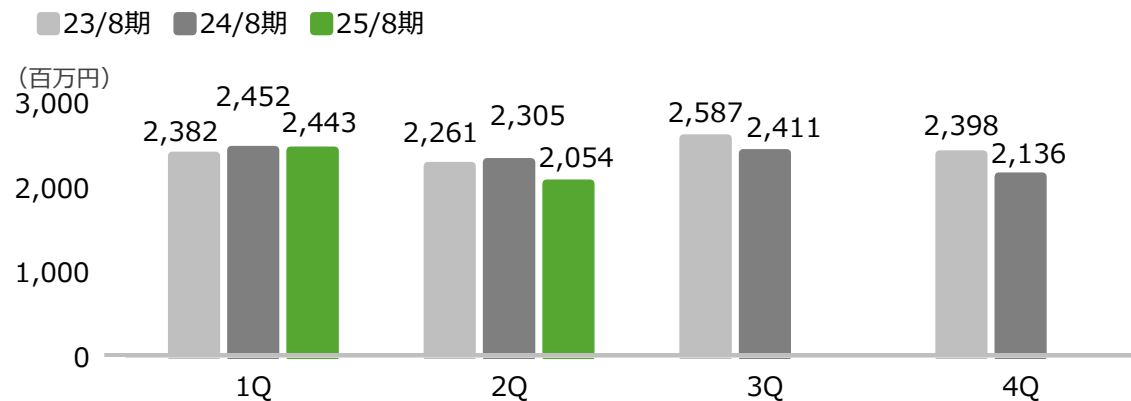
* 大口得意先：代理店契約を締結している取引先

- ・ 今期1Qと比較すると季節性もあり、2Qでやや減収となる

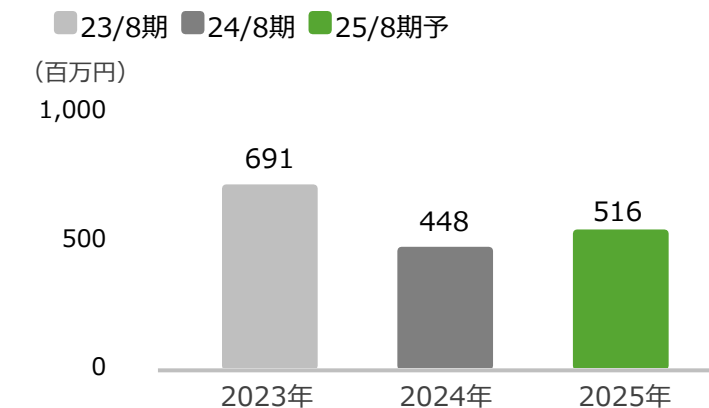
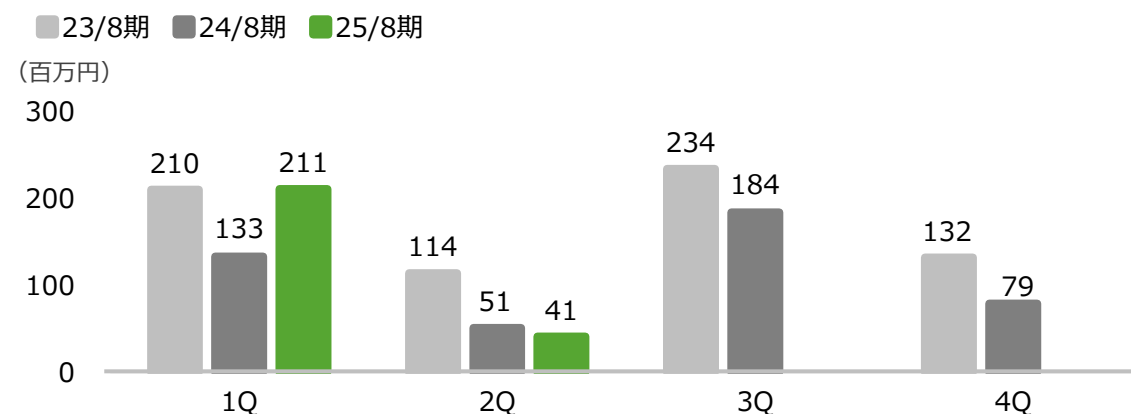
四半期

期末累計

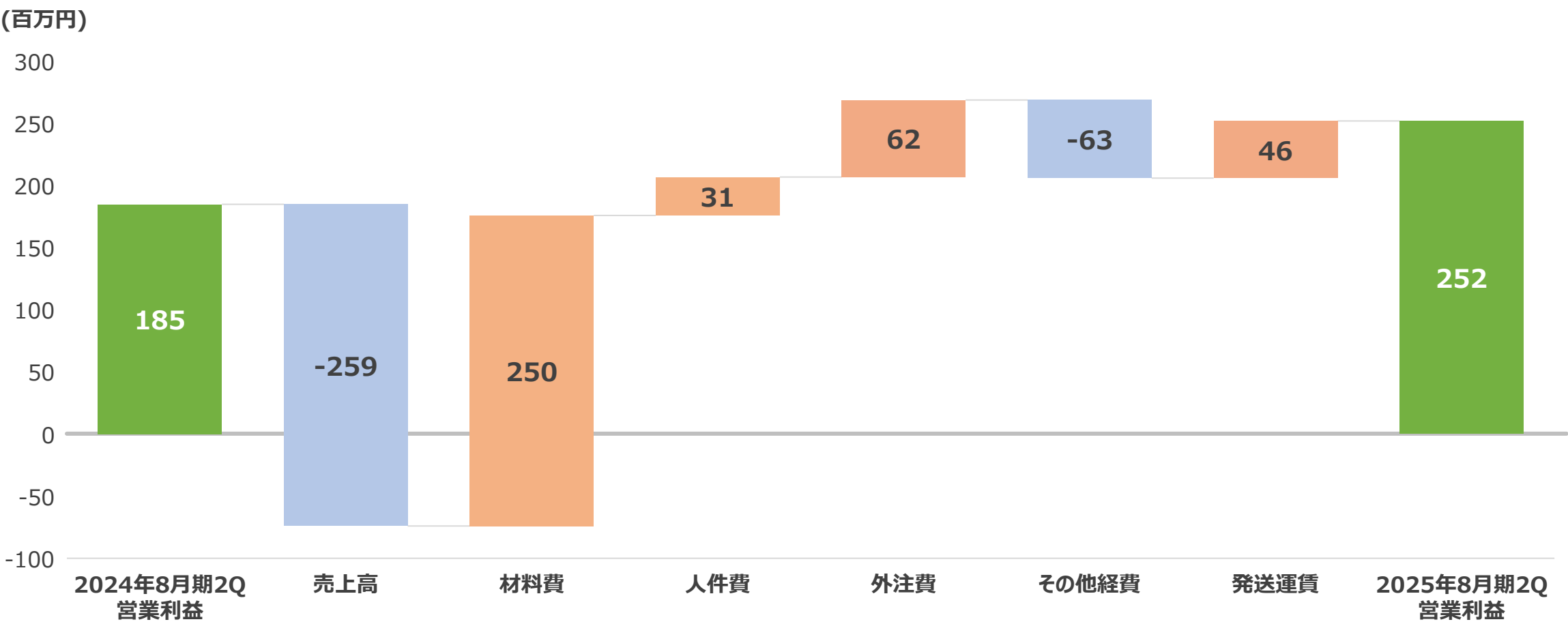
売上高



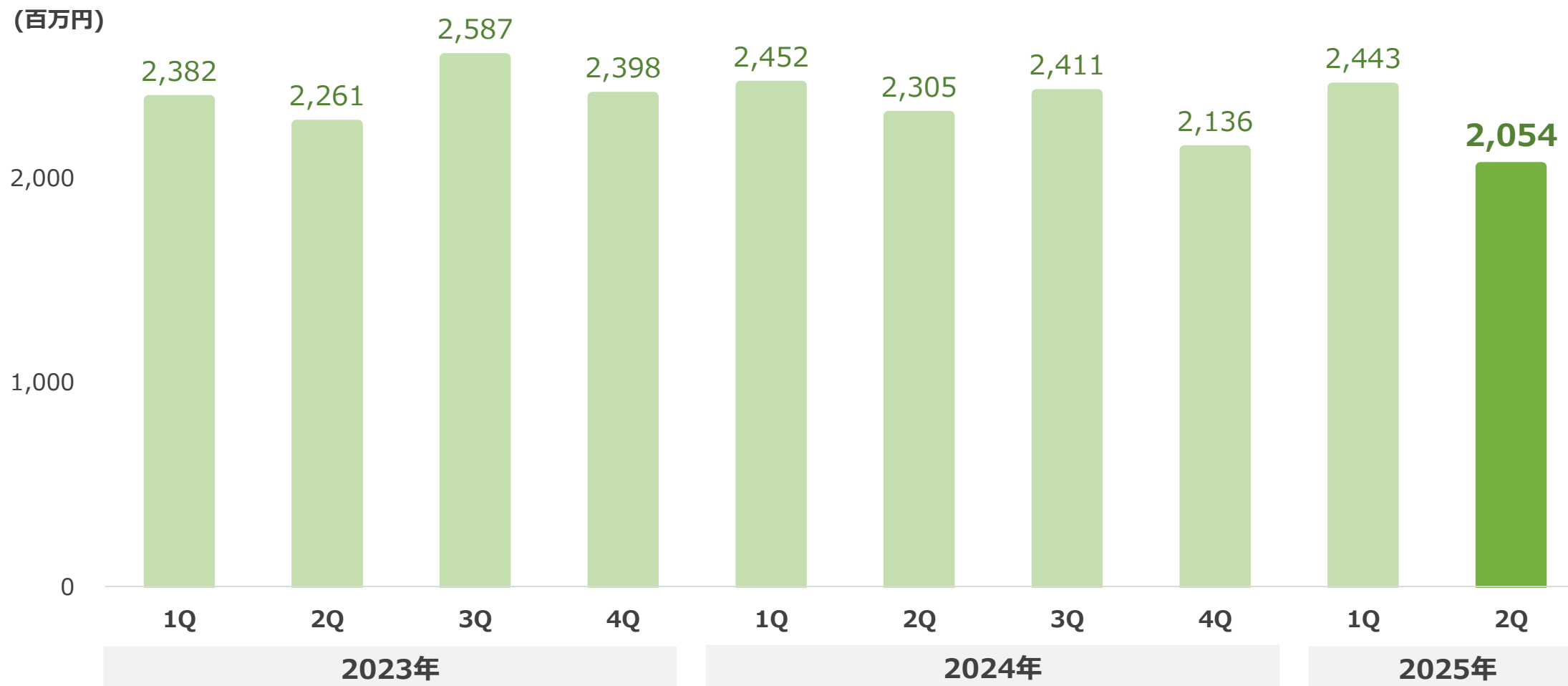
営業利益



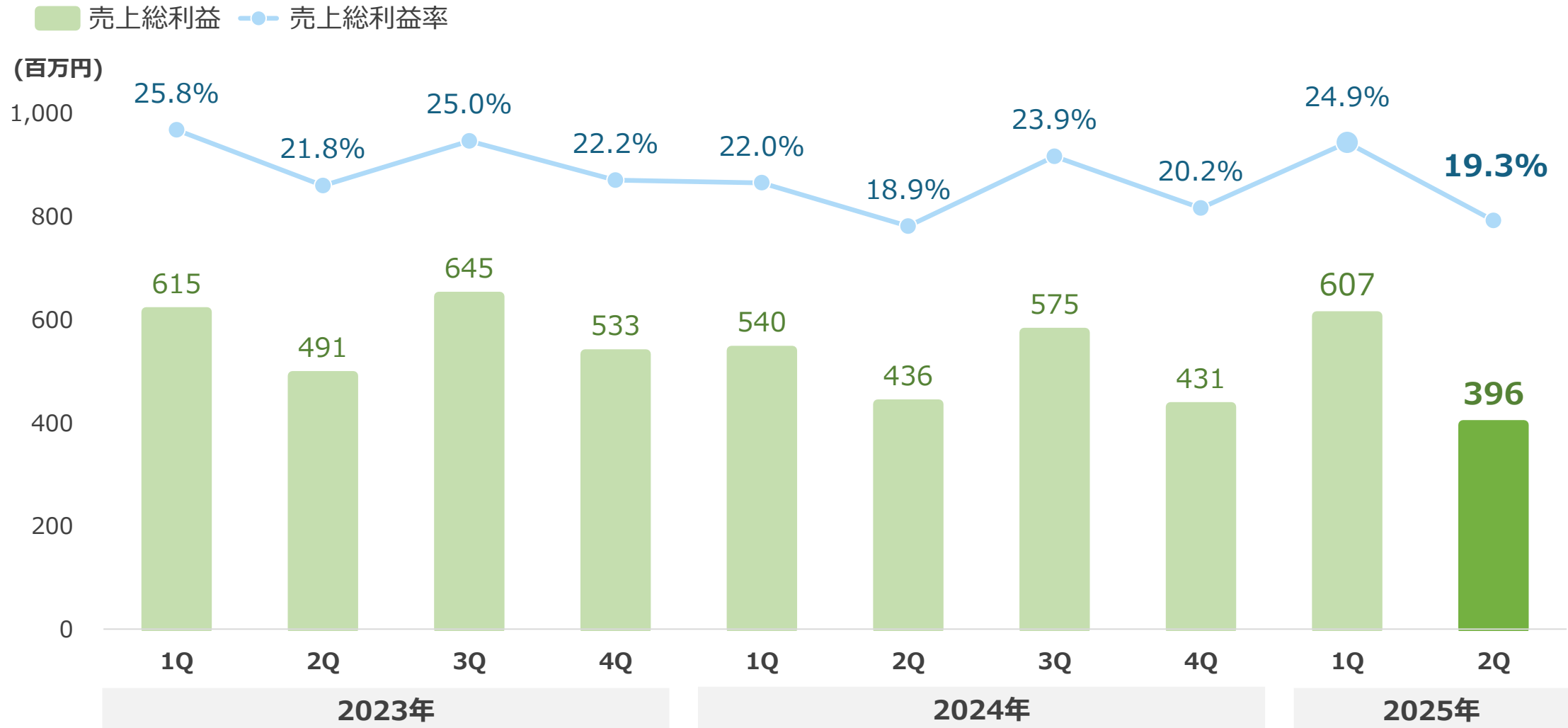
・売上高は減収となるもそれ以上の原価削減、外注の内製化、発送運賃等の削減により営業利益では前期比 67百万円の増益



- ・大口以外の得意先の売上高が増加（前期比+217百万円）したものの、大口得意先の売上高が減少（前期比▲453百万円）したため、全体では前期比▲5.5%の売上高となった

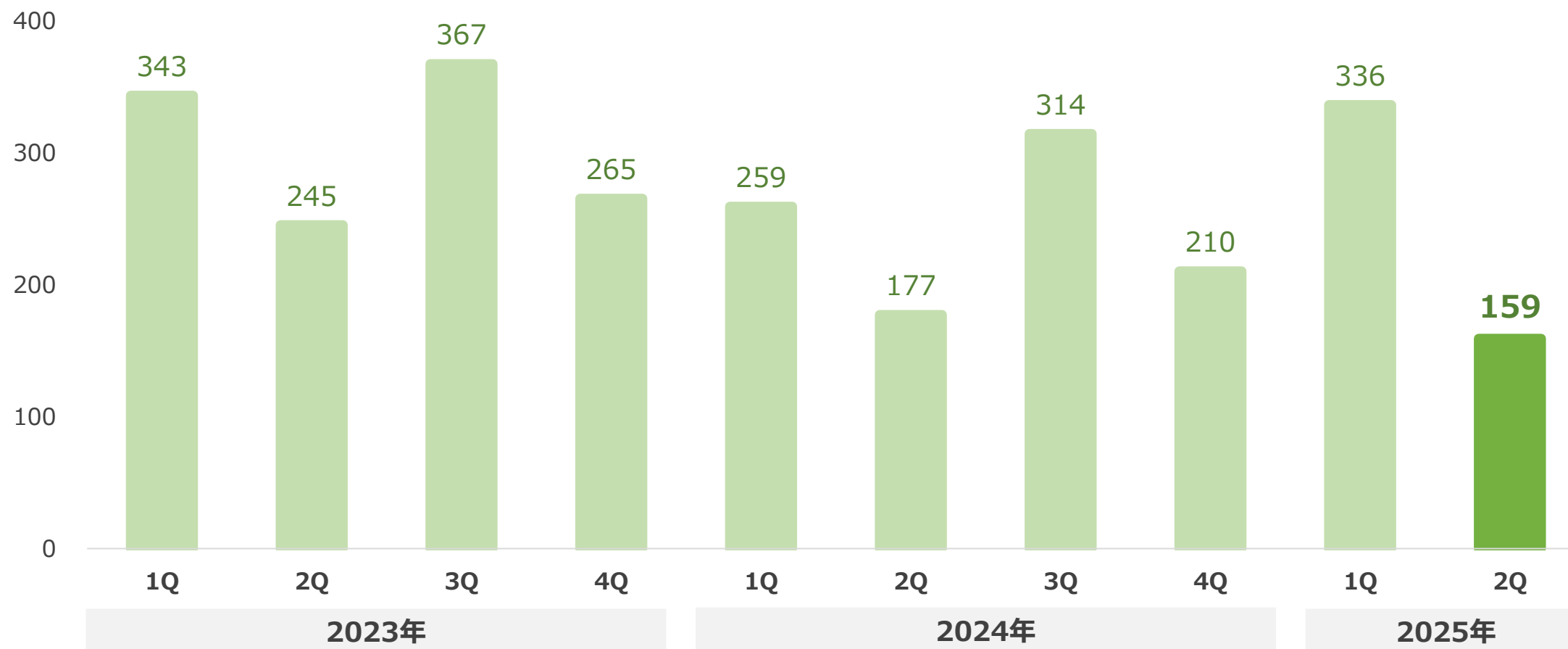


- ・売上高より利益率を重視する方針に転換したため、利益率については前期2Q比で改善



- ・大きな設備投資はないものの、営業利益増加によりEBITDAも前期と同水準を維持

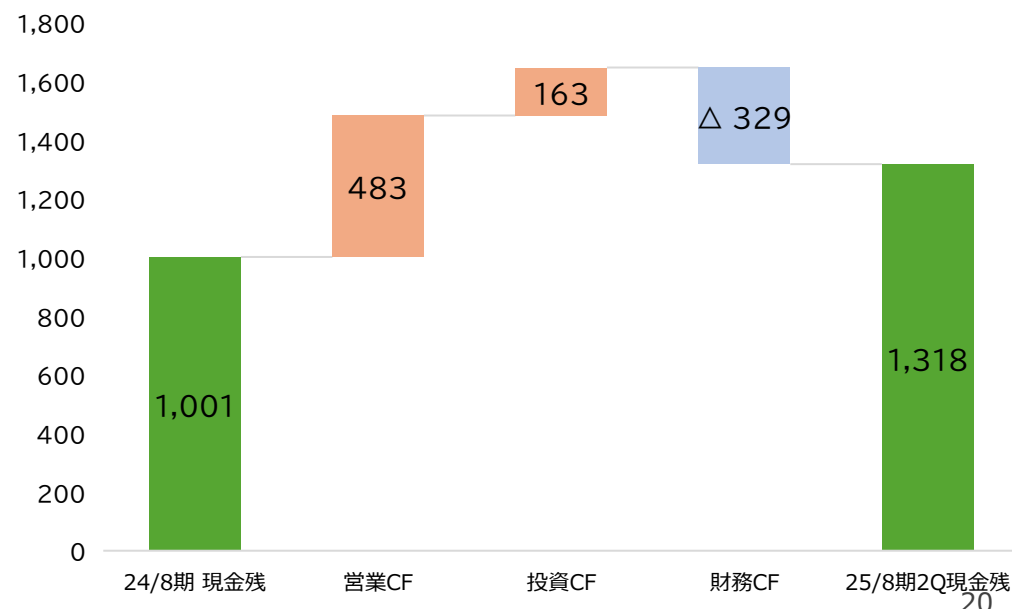
(百万円)



・自己資本比率 54.4%、フリーキャッシュフロー 647百万円

(単位：百万円)	2025年8月期 2Q	2024年8月期	増減額
流動資産	3,222	2,757	+465
現預金	1,318	1,001	+317
受取手形及び売掛金	670	636	+34
商品および製品仕掛品、原材料及び貯蔵品	980	868	+111
その他	252	251	+1
固定資産	4,156	4,409	△253
有形固定資産	3,759	3,873	△113
無形固定資産	156	159	△2
投資その他の資産	239	376	△136
総資産	7,378	7,166	+211
流動負債	2,364	2,246	+117
買掛金	769	629	+140
短期借入金、1年以内返済予定の長期借入金	952	1,066	△114
その他	642	550	+92
固定負債	992	1,136	△143
長期借入金	602	755	△152
その他	389	381	+8
純資産	4,022	3,784	+237
株式資本合計	3,997	3,762	+234
その他包括利益累計等	24	21	+3
負債純資産合計	7,378	7,166	+211
自己資本比率	54.4%	52.7%	+1.7%

(単位：百万円)	2025年8月期 2Q	2024年8月期 2Q
営業CF	483	257
投資CF	163	△169
フリー-CF	647	88
財務CF	△329	△169
現金等残	1,318	958

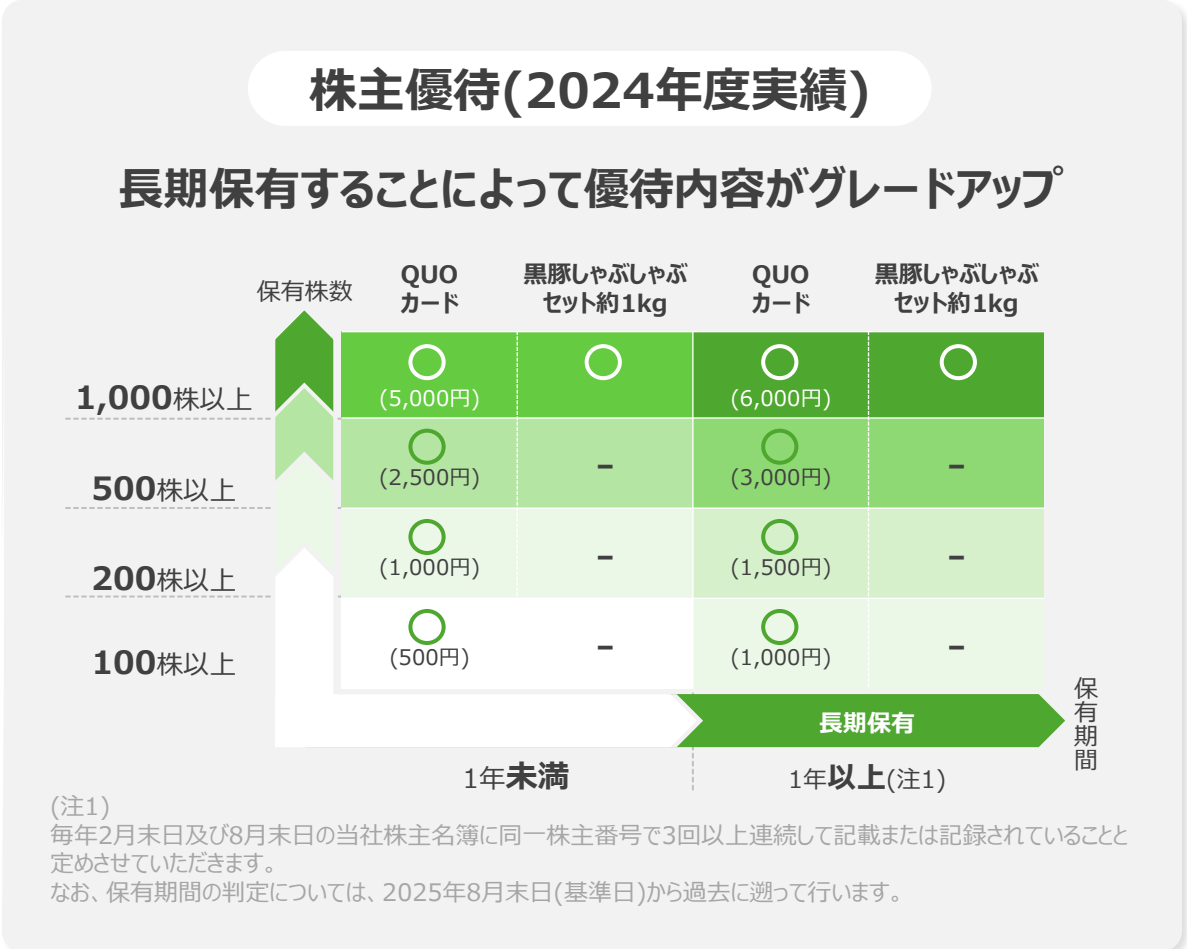


- 株主還元を経営の重要事項の一つとして捉え、長期保有による株主優待をグレードアップ
- 配当金は2期連続増配

＜ 1株当たりの年間配当金 ＞
(円)



＜ 株主優待の詳細 ＞



目次

1. 当社概要と事業内容
2. 2025年8月期 進行期の現状と通期計画
3. 今後のビジョン

国内の人口減少

(人手不足・市場縮小)



デジタル化の促進・インフレ

(資材価格の高騰、効率性の追求)



SDGs・ESG

(環境・社会課題への貢献)

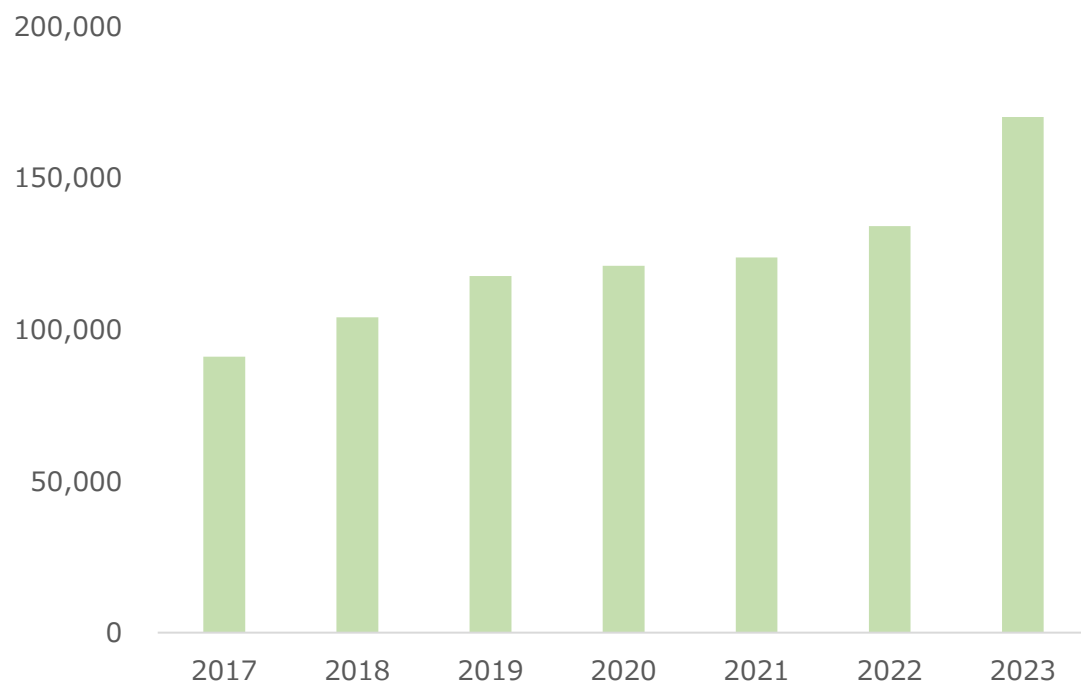


地政学リスク/為替・金利変動

(経済的価値創造へのリスク)



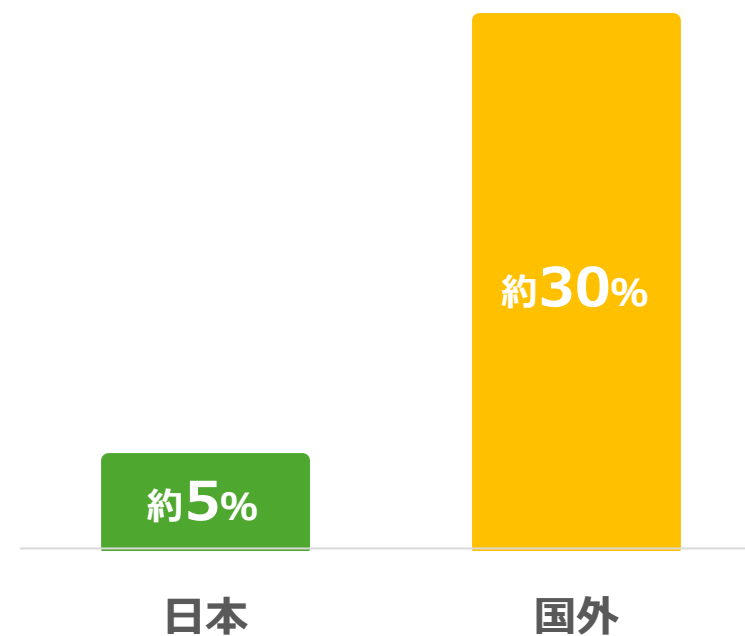
印刷通販市場規模推移



出典

- ・矢野経済研究所2022年度印刷通販調査
- ・JAGAT印刷白書2024
- ・各社財務データより、会社作成2025年4月

印刷市場の国内外EC比率



出典

- ・矢野経済研究所『2013年版印刷通販市場の展望と戦略』
- ・矢野経済研究所『印刷企業の徹底分析2016年度版』
- ・公益社団法人 日本印刷技術協会『印刷白書2020』

- ・持続的成長に向けた成長投資、人材投資、サービス・サポート体制の強化に加え、ESG経営の推進により継続的な企業価値拡大基盤を構築してまいります

戦略骨子	取組みのポイント
成長への設備投資	● 九州第二工場の建設により、2ライン増設によるキャパ2倍へ ● 総投資額35億円（自己資本、借入金による調達） ● 中長期的な成長に向けた多角的な投資
人材育成投資	● 若手採用の促進と育成システムの強化 ● 賃金UPと労働環境改善による離職率低減 ● ベテラン社員の技術継承
サービス・サポート体制強化	● オンライン発注システムの更なる簡素化と利便性向上 ● データ共有によるカスタマーサポートの強化 ● 低価格・小ロット対応、高品質・短納期の実現
ESG対応	● 太陽光等の再生可能エネルギーの活用によるCO2削減 ● 環境に配慮したノンVOCインキの100%使用

- 需要増に対応した製造キャパの拡大が主目的であるが、先進設備の導入による生産性の向上とコスト削減効果も大きい成長投資（総額**35億円**投資）
- 現況の九州工場のキャパ約20億円→**約40億円**
- 資材コスト年間約**3,000万円以上**の**削減**を見込む

成長投資

投資総額
35億円

< 投資内容 >

①工場新設

②先進設備

①工場新設



②先進設備



建設予定地：鹿児島県始良市加治木町木田字江湖1184番1, 字須崎1377番20, 1377番21

～地域での雇用促進と人材育成、スキルアップと生産性の向上を目指します～

雇用の促進と育成



職場環境の改善



研修と技術継承



社内エンゲージメント促進





オリジナルプリントアイテム作成サイト
「**プリントネットウェア**」を
オープン

<https://wear.printnet.jp/>



オリジナルプリントアイテム作成サイト「**プリントネットウェア**」をオープン

プリントネットの強み

1

取り扱い
アイテムが豊富

Tシャツ 1,431円~	
長袖 Tシャツ 1,675円~	
パーカー・スウェット 3,093円~	
パンツ 2,017円~	
バッグ 1,438円~	
マグカップ 1,235円~	
ポロシャツ 1,859円~	
キャップ 1,333円~	

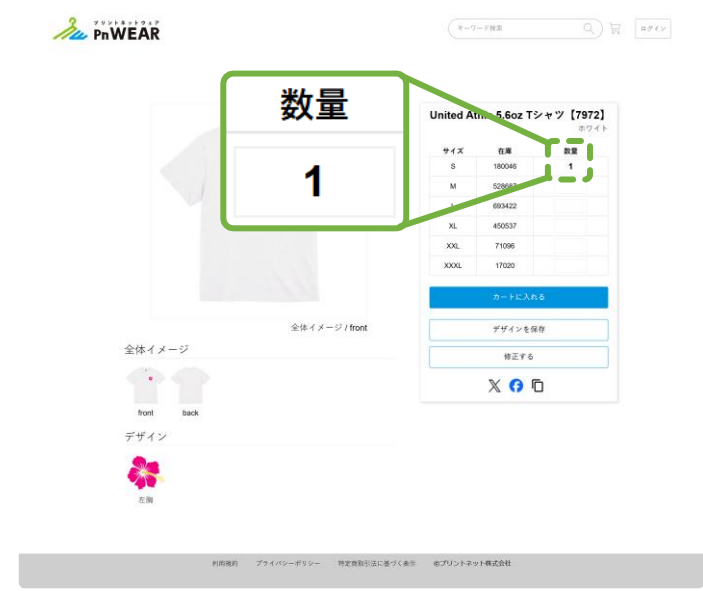
2

デザインソフト不要
サイト上で自由にデザインができる



3

1点からの注文が可能



E 環境

事業を通じた
環境問題・社会課題への取り組み

- CO2削減
(太陽光発電等再生エネの活用)
- 環境にやさしい原材料の促進

S 社会

地域社会に
根付いた活動と貢献

- 雇用の創出
- 地域スポーツ、イベントへの協賛

G ガバナンス

ベストプラクティス実現と
管理・監督強化

- 執行と監督の分離
- ステークホルダーとの対話促進

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

「鹿児島レブナイズ」とパートナー契約を締結



※2025年6月末までの契約となっております

「フラゴラッド鹿児島」とスポンサー契約



※2025年6月末までの契約となっております

プリントネットは、「**地域貢献**」「**地方創生**」に取り組んでおります



本資料は、2025年8月期2Q決算に関する情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2025年2月末日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。